

2009年度 事業報告書

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

一般社団法人交通環境整備ネットワークは、2009年5月15日に創立社員総会を経て事業活動に入りました。2009年度は、交通環境の調査研究と併せてセミナー・トレイン、鉄道茶論等を開催すると共に国土交通省主催の地方鉄道活性化・再生シンポジウム等に参加して、発言を行ってきました。

また、鉄道ジャーナル誌等のメディアを通じて情報発信活動にも積極的に取り組みました。

詳細については以下のとおりです。

1. 交通環境の調査研究

鉄道をとりまく現状、市民参加の現状に関する諸情報を収集するとともに以下の調査研究を公表しました。

- (1) 福井鉄道の経営再建：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'09.06〕 p100～105
- (2) えちぜん鉄道の現状：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'09.07〕 p110～115
- (3) 一般社団法人設立の背景―近年のローカル線事情と取組―：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'09.09〕 p155～157、会報「地域鉄道を考える」〔'09.10〕 p8～19
- (4) 住民主体のまちづくりとその背景：田中 人 会報「地域鉄道を考える」〔'09.10〕 p20～25
- (5) 千葉モノレールの再建スキーム：原 潔 会報「地域鉄道を考える」〔'09.10〕 p26～43
- (6) 最近の銚子電鉄：向後功作 会報「地域鉄道を考える」〔'09.10〕 p44～49
- (7) ひたちなか海浜鉄道湊線魅力と現状：吉田千秋 会報「地域鉄道を考える」〔'09.10〕 p50～53
- (8) 鉄道事件の判例研究―鉄道法律相談―：小島好己 会報「地域鉄道を考える」〔'09.10〕 p54～59
- (9) 黒部峡谷鉄道を訪ねて―歴史と現状 観光と経営：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'09.11〕 p106～112
- (10) 成田空港をめぐるJR東日本と京成：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'09.12〕 p44～49
- (11) 国鉄・JRの運賃制度と動向：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'10.01〕 p104～111
- (12) 松本電気鉄道上高地線を訪ねて：原 潔 鉄道ジャーナル〔'10.01〕 p143
- (13) 鉄道貨物の現状と課題：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'10.02〕 p104～111
- (14) 相互直通運転のあゆみと考え方：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔'10.03〕 p104～111
- (15) 鉄道・幾春秋：平野雄司 鉄道ジャーナル 鉄道ジャーナル〔'10.03〕 p167
ほか毎月号

2. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

(1) 主催事業活動

① 第3回セミナー・トレインの開催

期日：2009年6月27日（土）13時00分～16時00分

場所：千葉モノレール

概要：ヘッドマーク付き千葉モノレール貸切列車運行、48名参加

- ・「千葉の都市交通概論」 佐藤信之
- ・「千葉モノレールの現状」 千葉都市モノレール株式会社 今関真治
- ・「千葉モノレールの再建スキーム」 原 潔
- ・「鉄道の新輸送サービスについて」 国土交通省鉄道局専門官 中田勝久

② 地域鉄道フォーラムの開催

期日：2009年11月7日（土）13時00分～15時30分

場所：東武博物館

概要：53名参加

- ・基調講演 「住民主体のまちづくりとその背景―地方鉄道活性化の条件」
早稲田大学・亜細亜大学講師 田中 人
- ・講演 「津軽鉄道の現状と課題」
津軽鉄道株式会社 代表取締役社長 澤田長二郎
- ・講演 「ひたちなか海浜鉄道の現状と課題」
ひたちなか海浜鉄道 代表取締役社長 吉田千秋
- ・総括講演 「街中再発見から始まる鉄道活性化」
銚子電気鉄道株式会社 鉄道部次長 向後功作
- ・記念講演 「東武博物館のあゆみ」 東武博物館 館長 花上嘉也

③ 第2回鉄道茶論の開催（関東運輸局千葉運輸支局後援）

期日：2010年2月6日（土）10時00分～12時00分

場所：サンプラザ市原

概要：37名参加

- ・ビデオ上映「ローカル線紀行」解説 佐藤信之
- ・上毛電気鉄道友の会設立の報告
- ・講演 「小湊鉄道の歴史」 鉄道史学会会員 白土貞夫
- ・総括 関東運輸局千葉運輸支局長 飯村 勉

その後、有志により小湊鉄道の保存蒸気機関車見学、房総横断鉄道の旅を実施

（2）参加・後援等支援協力活動

- ①東北運輸局主催「地方鉄道活性化フォーラム」に3名参加（2009年8月31日仙台）
- ②北陸信越運輸局主催「地方鉄道活性化・再生シンポジウム」にパネラー：佐藤信之ほか1名参加（'09.10.5 上田市）
- ③第6回男女参画センター交流まつり「ローカル鉄道とまちづくり」記念講演：向後功作（'09.9.29 弘前市）
- ④千葉市生涯学習センター主催 「千葉カレッジ」講師：向後功作（'09.10.7 千葉市）
- ⑤さいたまの明日を考える会主催鉄道のまちフェスタ in SAITAMA パネラー：向後功作（'09.10.14 大宮市）
- ⑥国土交通大学校「利用者側からみた鉄道活性化」講師：原 潔（2009.10.28）
- ⑦銚子あるくねっとわーくCAN主催「外川まち歩きワークショップ」を後援（'09.6.28, '09.11.15）
- ⑧関東運輸局千葉運輸支局主催「ネットワーク会議」に委員：佐藤信之及び向後功作ほか2名参加（'10.2.8）

3. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

（1）インターネットによる情報発信

①ホームページ

インターネットサイト <http://www.ecotran.org> に加え、2009年6月6日より <http://www.ecotran.net> を開設し、当法人運営に関しての告知と地域交通に関する情報の提供の強化を図りました。

②メールによる鉄道情報配信

2009年6月30日より会員への最新鉄道諸情報をメールで配信を開始しました。

(2) 会報の発行

交通環境の調査研究論文のほか地域鉄道の諸情報をまとめた会報「地域鉄道を考える」第1号を2009年10月発行しました。

(3) 鉄道ジャーナル誌に活動報告掲載

鉄道ジャーナル10月号より「ECOTRAN通信」と題する当法人並びに会員の活動を紹介するカラーページのコーナーを開設しました。

これにより、広く一般の方々に情報の発信が可能となりました。

5. 法人のうごき

(1) 創立社員総会並びに祝賀会

期日：5月15日（金）

場所：東京都中小企業振興公社

概要：

- ・会長あいさつ
- ・来賓祝辞
- ・祝電披露
- ・事業計画等承認

来賓の国土交通省鉄道局地域鉄道支援室長上住まり様及び慶應義塾大学名誉教授藤井弥太郎先生より祝辞をいただきました。祝電は、国土交通省国土交通審議官宿利正史様、近畿大学教授斉藤峻彦様、津軽鉄道株式会社代表取締役社長澤田長二郎様、千葉都市モノレール株式会社様、JR千葉鉄道サービス株式会社代表取締役社長後藤慎悟様よりそれぞれ頂戴し、会場で披露いたしました。事業計画、予算が承認された後、国土交通省鉄道局長北村隆志様、同局総務課長濱勝俊様、同局総務課長補佐越智政広様、同局業務政策課専門官中田勝久様を来賓に迎え、総勢24名により創立の祝賀会を行いました。

(2) 理事会

①2009年5月14日（木）創立総会提出案件について

②2009年5月29日（金）文書管理規程の制定・セミナートレイン開催について、ほか

③2009年10月31日（土）鉄道フォーラムの開催について・会報の発行について・津軽でのイベントについて、ほか

(3) 会員数

2010年3月31日現在

個人会員	64名
法人会員	3名
計	67名

2009年度 決算報告書

(第1期: 2009年4月1日～ 2010年3月31日)

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

収支計算書
(2009年4月1日～2010年3月31日)

単位:円

項目	予算額 a	決算額 b	差異 a-b	備 考
1. 事業活動収支				
(1) 事業活動収入				
① 受取入会金	50,000	62,000	-12,000	
② 受取年会費	100,000	158,000	-58,000	
③ 事業収益	0	0	0	
④ 受取寄付金	0	58,000	-58,000	*1 別掲
④ 雑収入等	10,000	17,963	-7,963	雑収入17,910、受取利息53
事業活動収入計	160,000	295,963	-135,963	
(2) 事業活動支出				
① 事業費支出	100,000	61,488	38,512	
② 管理費支出	275,000	250,069	24,931	
事業活動支出計	375,000	311,557	63,443	
事業活動収支差額	-215,000	-15,594	-199,406	
2. 投資活動収支				
(1) 投資活動収入	0	0	0	
(2) 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
3. 財務活動収支				
(1) 財務活動収入	500,000	500,000	0	基金受入 *2 別掲
(2) 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	500,000	500,000	0	
4. 予備費支出	50,000	0	50,000	
当期収支差額	235,000	484,406	-249,406	
前期繰越収支差額				
次期繰越収支差額	235,000	484,406	-249,406	

消費税等の会計処理は、税込方式による。

*1 ご寄付を頂いた方々

関東交通印刷様 39,000円
奥田哲也 様 7,000円
北村隆志 様 3,000円
濱 勝俊 様 3,000円
越智政広 様 3,000円
中田勝久 様 3,000円

ーありがとうございましたー

*2 基金拠出者

佐藤信之 100,000円
原 潔 100,000円
向後功作 100,000円
吉田千秋 50,000円
田中 人 50,000円
斎藤 実 50,000円
長瀬 博 50,000円

事業活動支出・管理費支出の部

単位:円

1. 事業費	予算 a	決算 b	差異 a-b	備考
(1) セミナートレインの開催	10,000	0	10,000	
(2) 鉄道茶論の開催	30,000	6,800	23,200	
(3) 会報の作成	60,000	54,688	5,312	
(4) 地域鉄道フォーラムの開催	0	0	0	
事業費計	100,000	61,488	38,512	
2. 管理費				
(1) 会議費	25,000	12,077	12,923	総会、理事会
(2) 交際費	0	0	0	
(3) 旅費交通費	0	0	0	
(4) 通信費	5,000	24,435	-19,435	ドメイン維持費、郵便、宅配
(5) 什器備品費	0	0	0	
(6) 事務用消耗品費	10,000	10,157	-157	
(7) 委託費	0	0	0	
(8) 雑費	5,000	9,685	0	
(9) 設立関係費用	130,000	119,915	10,085	定款認証(租税公課51,500)、登記(租税公課60,000)、謄本等(租税公課2,500)、印鑑(事務用消耗品)
(10) 租税公課	100,000	73,800	26,200	市民税均等割50000円、県民事均等割20000円ほか
管理費計	275,000	250,069	24,931	
事業活動費計	375,000	311,557	63,443	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲 資金の範囲は、現金預金額の範囲内

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

単位:円

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	0	558,406
未収入金	0	0
仮払金	0	0
資産 a	0	558,406
短期借入金	0	0
未払費用	0	70,000
前受金	0	4,000
負債 b	0	74,000
繰越収支差額 a-b	0	484,406

貸借対照表 (2010年3月31日)

単位:円

科 目	当年度 a	前年度 b	増減 a-b	備 考
1. 資産の部				
(1) 流動資産				
現金預金	558,406	0	558,406	
未収入金	0	0	0	
前払費用	0	0	0	
仮払金	0	0	0	
流動資産合計	558,406	0	558,406	
(2) 固定資産				
什器備品	0	0	0	
減価償却累計額	0	0	0	
固定資産合計	0	0	0	
資産合計	558,406	0	558,406	
2. 負債の部				
(1) 流動負債				
短期借入金	0	0	0	
未払費用	70,000	0	70,000	県民税・市民税
前受金	4,000	0	4,000	次年度会費前受け
負債合計	74,000	0	74,000	
3. 正味財産の部				
基金	500,000	0	500,000	
一般正味財産	-15,594	0	-15,594	
正味財産合計	484,406	0	484,406	
負債及び正味財産合計	558,406	0	558,406	

正味財産増減計算書 (2009年4月1日～2010年3月31日)

単位:円

	当年度 a	前年度 b	増減 a-b	備 考
I 基金増減の部				
基金期首残高	200,000	0	200,000	
基金期末残高	500,000	0	500,000	
II 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	62,000	0	62,000	
受取年会費	158,000	0	158,000	
事業収益	0	0	0	
受取寄付金	58,000	0	58,000	
雑収入等	17,963	0	17,963	
経常収益合計	295,963		295,963	
(2) 経常費用				
事業費	61,488	0	61,488	
管理費	250,069	0	250,069	
経常費用計	311,557	0	311,557	
当期経常増減額	-15,594	0	-15,594	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-15,594		-15,594	
一般正味財産期首残高	0	0	0	
一般正味財産期末残高	-15,594	0	-15,594	
正味財産合計	484,406	0	484,406	

財務諸表に対する注記

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2010年 4 月 10 日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク
代表理事 佐藤信之 殿

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

監 事 長 瀬 博

監 査 報 告 書

私は、2009年4月1日から2010年3月31日までの第1期会計年度における会計及び業務の監査を行い、その結果を次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査は、帳簿並びに関係書類の整合閲覧により、決算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査は、理事会及びその他の会議に出席し、必要と思われる事項について理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などにより業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 財務諸表及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財務状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は、事実と認める。

以上

2010 年度 事業計画

一般社団法人交通環境整備ネットワーク

1. 基本方針

わが国の地域鉄道は、少子高齢化の進展に加え景気の低迷、更には高速自動車道の料金無料化の実施等、そのとりまく環境は従前にも増して厳しい状況にあります。

一方で地球環境問題への積極的な取り組みが要請される中で、地域鉄道の役割も高まっています。

地域鉄道を支え守ることはその地域の足を確保するにとどまらず、その地域の文化を守ることに通じるものであり、交通に関わる行政、鉄道事業者と市民の一層の連携が求められています。

その中であって、当法人は地域鉄道を主軸とした交通環境の整備のため、関係者間の緊密な関係が構築できるように、ゆるやかな結合体としての役割を担い、地域の発展に寄与できるよう諸活動を進めます。

2. 交通環境の調査研究

地域鉄道等の交通環境や市民参加の現状に関する諸情報を収集し、交通の歴史的背景やその運営方策についての調査研究を継続して行うほか、今年度は、都市鉄道整備の制度とインフラ整備の経緯に関する研究並びに地方路線バス、コミュニティバスの現状等に関して調査を実施する予定です。

これらの調査研究の結果については会報「地域鉄道を考える」等を通じて随時発表して行く予定です。

3. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

交通環境の整備に資するため、「地域鉄道フォーラム」、「鉄道茶論」等の主催事業を継続開催するとともに国、地方公共団体、NPO法人等の地域支援活動に協力して行きます。

また、地域交通に関するスモールビジネスへの支援と連携を始めます。

(1) 主催事業

主催事業を以下のとおり予定しています。

なお、調整中のものは、決定次第ホームページ、インターネットメールでお知らせいたします。

① 第2回地域鉄道フォーラムー公募社長サミット in 東京ー

期 日：平成22年6月12日（土）13時00分～15時00分

場 所：東武博物館ホール

参加費：無料。ただし、東武博物館への入場料大人200円、小人100円が必要です。

概 要：公募された経営難の鉄道会社社長に応募、本人自らが果敢に事業再生へ取り組む姿を報告します。なぜ、前職を投げ打ってまで苦難の道を選んだのか。現実を踏まえたレール維持のための諸計画。そして地域住民に一番訴えたいことはなにか。赤裸々な話の中で、“地方ローカル鉄道の存在意義”を問い直します。第三セクター等協議会と共催、国土交通省鉄道局後援。

② シアタートレインー津軽鉄道の魅力ー

期 日：平成22年7月3日（土）15時20分～17時40分

場 所：津軽鉄道津軽五所川原駅 留置客車内

参加費：無料。ただし、会場までの交通費等は自己負担。

概要：津軽鉄道の80周年を記念して、津軽鉄道客車内において「津軽鉄道の魅力」

を佐藤信之が講演、その後栗山弘監督「津軽の鉄道」と「東北ローカル線の再生」のビデオ上映を行います。

- ③ 第3回鉄道茶論
期 日：調整中
場 所：津軽鉄道沿線で調整中
参加費：無料。ただし、会場までの交通費、会場での茶菓代等は自己負担。
概 要：鉄道茶論は、暖かいサロンの雰囲気です。気軽に集い、そして気軽に鉄道を語ることを目的に開催しています。
- ④ 第4回セミナートレイン
期 日：調整中
場 所：調整中
参加費：無料。ただし、会場までの交通費は自己負担。
概 要：セミナートレインは、参加者がその地域の鉄道に実際に乗り、沿線の雰囲気に触れることができるよう、鉄道車両、駅等の場所をお借りし、時宜にあったテーマでセミナーを開催しています。

(2) 地域交通に関するスモールビジネスへの支援と連携

地域交通に関するスモールビジネスへの支援と連携を図ります。このため、新たに「地域鉄道支援事業」を立ち上げます。また、並行して日本図書コード（ISBN）を取得し、地域交通関係図書を発行できる体制を整えます。

地域鉄道支援事業は、各地域鉄道及び沿線におけるハード、ソフト両面で「持てる情報」、「欲しい情報」を整理蓄積し、情報のコーディネート、共同事業化、企画商品の開発、共同営業等を行うことにより、コスト削減や効率化、新たな需要を図ることを目的とするものであり、**Keep up Railway, Keep up Community** 略して「K2プロジェクト」と称して以下のような事業を展開する計画です。本年度は主としてマーケティングリサーチを行います。

- | | |
|-----------------|--------------|
| ・不要部品、必要部品の相互斡旋 | ・共同営業の展開 |
| ・レール等資材の共同購入 | ・教育の共同化 |
| ・駅務機器等の機器共同発注 | ・パンフレットの配布 |
| ・検査機器の共同使用 | ・交通関係図書の編集発行 |
| ・運賃改定作業支援 | ・鉄道関連グッズの開発 |
| ・イベント企画運営 | ・沿線観光商品の開発 |
| ・共同広告・共同情報発信の企画 | ほか |

4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

インターネットサイト <http://www.ecotran.org> 及び <http://www.ecotran.net> の内容の充実を図ると共に鉄道諸情報のインターネットによるメールの配信を行います。

(2) 会報「地域鉄道を考える」の発行

交通環境調査研究の論文及び地域鉄道の諸情報をまとめた会報「地域鉄道を考える」を発行します。

(3) 鉄道ジャーナル誌に活動報告掲載

鉄道ジャーナル誌の「ECOTRAN通信」を活用して広く一般の方々に当法人並びに会員の活動を毎月紹介して行きます。

5. 当法人の発展のために

当法人発展のために、事業活動の広報等について会員諸氏においてもそれぞれの立場で、無理の無い範囲でのご活動をお願いします。

2010年度 収支予算書

一般社団法人交通環境整備ネットワーク

単位：円

項目	予算額 a	前年度予算 b	差異 a-b	備 考 c
1. 事業活動収支				
(1) 事業活動収入				
① 入会金	20,000	50,000	-30,000	20 名新規加入を見込む
② 年会費	200,000	100,000	100,000	個人 80 人法人 4 人
③ 事業収益	40,000	0	40,000	地域鉄道支援事業
④ 寄付金	0	0	0	
⑤ 雑収入等	10,000	10,000	0	
事業活動収入計	270,000	160,000	110,000	
(2) 事業活動支出				
① 事業費支出	115,000	100,000	15,000	
② 管理費支出	155,000	275,000	-120,000	
事業活動支出計	270,000	375,000	-105,000	
事業活動収支差額	0	-215,000	215,000	
2. 投資活動収支				
(1) 投資活動収入	0	0	0	
(2) 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
3. 財務活動収支				
(1) 財務活動収入	0	500,000	-500,000	前年度は基金の受入
(2) 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	500,000	-500,000	
			0	
4. 予備費支出	50,000	50,000	0	
			0	
当期収支差額	-50,000	235,000	-285,000	
			0	
前期繰越収支差額	484,406	0	484,406	
次期繰越収支差額	434,406	235,000	199,406	

事業活動支出明細

単位：円

1. 事業費	予算 a	前年度予算 b	差異 a-b	備 考
(1) セミナートレインの開催	10,000	10,000	0	
(2) 鉄道茶論の開催	10,000	30,000	-20,000	
(3) 会報の作成	60,000	60,000	0	
(4) 地域鉄道フォーラムの開催	10,000	0	10,000	
(5) 地域鉄道支援事業	25,000	0	25,000	
事業費計	115,000	100,000	15,000	
2. 管理費				
(1) 会議費	10,000	25,000	-15,000	
(2) 交際費	0	0	0	
(3) 旅費交通費	0	0	0	
(4) 通信費	50,000	5,000	45,000	ドメイン維持費含む
(5) 什器備品費	0	0	0	
(6) 事務用消耗品費	10,000	10,000	0	
(7) 委託費	0	0	0	
(8) 雑費	5,000	5,000	0	
(9) 設立関係費用	0	130,000	-130,000	
(10) 租税公課	80,000	100,000	-20,000	
管理費計	155,000	275,000	-120,000	
			0	
事業活動費計	270,000	375,000	-105,000	

会費の納入のお願い

2010年度会費未納の方は2,000円を、次の口座まで納入をお願いいたします。

郵便振替

口座番号 00170-6-546398

口座名称(漢字) 一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

口座名称(カナ) シヤ コウツウカンキョウセイビネットワーク

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク定款（2009年3月7日制定）の変更

変更理由

1. 業務執行理事を増員し、業務執行の強化を図るため。
2. 業務執行上において法律上の課題や税務上の高度な判断等が必要となった場合に、社員、非社員にかかわらず顧問として法律家や税務の専門家等の意見を広く聴取できるようにするため。

(傍線の部分は改正部分)

変更案	現 行
<p>(役員の設置)</p> <p>第20条 この法人に、次の役員を置く。</p> <p>一 理事 3名以上15名以内</p> <p>二 監事 2名以内</p> <p>2 理事のうち1名を代表理事とする。</p> <p>3 代表理事以外の理事のうち<u>3</u>名を業務執行理事とする。</p> <p>4 代表理事を会長とし、業務執行理事の1名を専務理事、業務執行理事の<u>2</u>名を常務理事とすることができる。</p>	<p>(役員の設置)</p> <p>第20条 この法人に、次の役員を置く。</p> <p>一 理事 3名以上15名以内</p> <p>二 監事 2名以内</p> <p>2 理事のうち1名を代表理事とする。</p> <p>3 代表理事以外の理事のうち<u>2</u>名を業務執行理事とする。</p> <p>4 代表理事を会長とし、業務執行理事の1名を専務理事、業務執行理事の<u>1</u>名を常務理事とすることができる。</p>
<p>(名誉会長)</p> <p>第29条 当法人に、名誉会長を置くことができる。</p> <p>2 名誉会長は、社員の中から、社員総会において任期を定めた上で選任する。</p> <p>3 名誉会長は、無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用を支給することができる。</p>	<p>(<u>名誉会長及び顧問</u>)</p> <p>第29条 当法人に、<u>名誉会長及び顧問</u>を置くことができる。</p> <p>2 <u>名誉会長及び顧問</u>は、社員の中から、社員総会において任期を定めた上で選任する。</p> <p>3 <u>名誉会長及び顧問</u>は、無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用を支給することができる。</p>

* 定款全文は、ホームページ (<http://www.ecotran.org>) に掲載しています。